

このまち感じよう!

# ここぞ! たづん

大野南地区を楽しく育てる情報紙

発行: NPO法人ここぞっと 2013 April 1

No.

# 4

## みつけっタウン

「ユニコムプラザ」って、なんだ?—そう思った方も多はず。見違えるように変わった相模大野。駅横、bono相模大野サウスモール3階にオープンした「ユニコムプラザさがみはら」。

ちょっと大きな公民館? 「相模原市立市民・大学交流センター」が正式名称なのだから、お偉い先生や学生さんが利用するところ? とにかく、私たちにはあんまり関係なさそうかな? な〜んて、思っておいでではありませんか?

もしかしたら、これはこのまちへの素敵なプレゼントになるかもしれない...そんな思いで「ユニコムプラザさがみはら」をご紹介します。



このまちに暮らす私たちにとっての

# ユニコムプラザさがみはら

大学と市民をつなぐ情報発信基地として  
大学と市民がつながる事業の場として  
市民活動のためのオフィスもあれば  
そのうえ、ここには「広場」まであるのです!



ユニコムプラザセンター長  
伊藤 晃さん

これまでいくつものNPO立ち上げを援助してきた、その経験をもとに相談にものつてく

市民活動の情報を集約している「市民活動サポートセンター」、環境活動については「環境情報センター」、また「国際交流ラウンジ」と市内には、それぞれに情報拠点ががあります。大学・地域・市民との連携情報発信や研究機関としては、相模女子大学内にある「公益社団法人さがまちコンソーシアム」がそれを実現してきました。「ユニコムプラザ」は、その「さがまちコンソーシアム」が運営・管理にあたります。センター長・伊藤さんは、「ユニコムプラザはそうした情報・研究を生かした実証の場となる施設です」と言います。「たとえば、サポセンやコンソーシアムを自動車工場になぞらえるなら、ここは自動車販売会社なんですよ」と。これは、ちょっとした市民協働のあり方のステップアップです。なにしろ実践の場なのでから。

## “辻説法”のできる フリースペースもあります

プラザ内には、訪れる人たちが腰かけて歓談できるスペースがあちこちにあります。下の写真は、プラザ中央にあたるロビーで、いちばん広いフリースペースとなっています。まるでホテルのロビー、大学構内のラウンジのような感覚です。それだけでなく、「ユニコムプラザ」をのぞいてみて、電子黒板をかねた大型TVのあるスペースなど、フリーな空間にゆとりが感じました。そうです。駅前開発は、ややもすると市民から「広場」を失わせますが、ここには新しい「広場」が企てられているかのようです。予約も受講料も必要なく、だれもが利用できる「広場」——使い方次第でいろいろなことが展開できそうです。

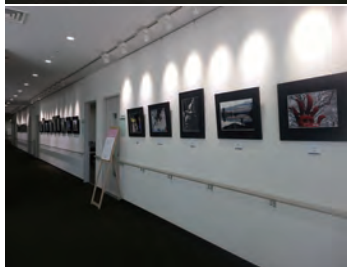
### さっそく土曜の午後はオーサースカフェ

その試みのひとつが毎週土曜日14:00~15:00のオーサースカフェ。オーサー=author(著者と、権威者と、そんな意味で肩書き関係なく道を究めた方たちのこと)たちがそれぞれ得意な分野のお話をしてくださるそうです。

すなわち辻説法タイム。

【4月のオーサースカフェ】

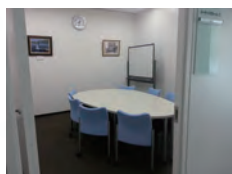
- 4月6日 「南極」  
講師 岩見哲夫氏
- 4月13日 「きもの」  
講師 斎藤優見氏
- 4月20日 「ミュージカル」  
講師 田畑雅英氏



上の写真は、会議室を6室つなげた状態でギャラリー使用しています。オープン記念の今は「フォトシティさがみはら」の写真展示がなされています。下は、ミーティングルームの廊下部分。いずれも、モールから直接のぞけて足を運べます。開放的な雰囲気が魅力的かも。連続使用もOK。6か月前から予約可能。

マルチスペースはギャラリーにもなる  
会議室7室分の自由自在

マルチスペースを分割すると下のような会議室に。それぞれ9時から夜の10時まで2時間単位200円で利用できます。また、シェアオフィスやAVスタジオもあって、うん、ワクワク!



春に笑顔と出会えるなら、また、始めようとおもおう。





※大野南エリア内にて、無作為に聞きとりをさせていただき  
ご了解いただいた方のコメントを掲載しています。  
※文字の大小、レイアウトも、コメントに  
関係なく行っています。  
※いただいたすべての回答は、NPO 法人ここちつとの  
HP でごらんになることができます。

# 習い事をはじめるとしたら なにをしたい？

## 101人に聞きました！

### 春ですね！

#### 音楽。

- **ピアノ** (70代女性)
- **チェロ** (高校生女子)
- **ヴァイオリン** (20代男性)
- **三味線** (40代男性)
- **クロマチックハーモニカ** (60代男性)
- **ウクレレ** (60代女性)
- **琴** (60代女性)
- **カラオケ** (50代女性)
- **ギター** (20代男性)

●かつてしてた人と新しく始めたい人。  
陶芸 (30・60代女性、40代男性) がなかなかの人気です。

#### 水彩画。 絵画・陶芸。 詩歌。

- **水彩画**。 絵心ないので上手くなると嬉しい。(40代男性)
- **陶芸**。 骨董。 掘り出しものをみつきたい。(30代男性)
- **詩吟**。 やっぱ、ステイタスでしょ。(50代女性)
- **鑑賞**のし方も習いたい。俳句。(60代女性)
- **英語**。 資格。 仕事のためだけに楽しい。(40代男性)
- **ポップ**を習い始めた。仕事のためだけに楽しい。(40代男性)

● **英字新聞**読むサークル。生きた英語に触れて微妙なニュアンスに接したい。(70代男性)

● **以前は**いっぱいやりたいことがあったが生活に追われているうちに諦めを学んだ。(20代女性)

● **習い事やサークルは**人間関係がいや。歩くのが好きで夫と一緒に歩くのだけで満足してます。(60代女性)

● **花粉症**でそんな気になれない。(50代女性)

● **新しいこと**はもう何もしたくないの。

● **追われるのは**、もういや。(60代女性)

#### 手芸。

- **お裁縫**。 趣味で小物を作りたい。(高校生女子)
- **ハワイアンキルト**。 子どもが大きくなって針を気兼ねなく出せるようになったので。(40代女性)
- **カルトナージュ**。(30代女性)
- **アクセサリーづくり**。(高校生女子)
- **彫金**。(40代女性)
- **フラワーアレンジメント**。 好きだけ仕事のため。(40代女性)

● **仕事に役立つ実学**も大事です。

#### 英語。 資格。

- **TOEIC800点**。 徐々に英語にひたりたい。(20代男性)
- **自立**、生活のため資格をとりたい。なにがいいかな？ (40代女性)
- **専門**学校に行きたい。なんでもいいから勉強したい。(20代女性)
- **花嫁**の着付けができるように。(50代女性)
- **料理**のレシピを増やしたい。(70代男性)
- **むしろ**若い人にお料理を教えたいです。(70代女性)
- **野菜**ソムリエに。食べることに大好き。(30代女性)
- **料理**。ウォーキング。マッサージ。●暮らしと健康は、大切なテーマです。
- **卒煙**を習いたい。健康増進のためです。(60代男性)
- **セルフ・マッサージ**ね。(40代女性)
- **介護**予防体操。(60代女性)
- **春**になるとウォーキングを習いたくなる。コース開拓とか。花のある道とかね。(70代男性)

● **とても**時間がない。定年になったら考えるよ。(50代男性)

● **向上心**がないので、何もしたくない。(40代男性)

● **市民農園**があたったのよ。これから3年間野良仕事が優先です。(70代女性)

● **これは**、日々充実の証しかも。何もしたくない。

● **習い事**より、時間があったら旅行をしたい。これまで旅行をしたことがないから。(60代女性)

● **ヨガ**で身体のコリを治したい。(40代女性)

● **スイミング**。水泳が大好き。(40代女性)

● **テニス**。やっぱり運動系。みんな運動不足を感じています。

● **ダンス**。HIPHOPダンスやりたい。(40代女性)



NHKの語学講座のテキストがいちばん売れるのが4月号だとか。進級、進学、就職と、新年度を迎える春。心機一転、なにかを始めるのにふさわしい季節なのかもしれません。そこで、こんな質問をしてみました。

● **例年**より早く桜が咲いてまちの佇まいも変わりましたが、まちの人はじっくり自分の生活を考えている気がします。

● **運動**する機会がほしい。泳げないからこどもといっしょに泳げるようにしたい。(30代男性)

● **テニス**は相手がいるのがいい。ひとりで取り組むものはイヤになりそう。(50代女性)

#### フィギュアスケート。

● **高校**の授業でやっているけどもっとやりたい。(高校生女子)

#### 写経してみたい。

● **思い**がけない人気がした。ペン習字を習って書かなくなった手紙を出したい。(60代女性)

#### 習字

● **日本**文化に触れられる。(50代女性)

#### 写真

● **デジカメ**買ったので使いこなせるようになりたい。(40代女性)

● **日常**を記録したい。(高校生女子)

#### スキューバダイビング。

● **水**が好きだから。(高校生女子)

#### 格闘技。

● **ボクシング**とか関節技とか憧れがあって。(40代男性)

● **格闘技**とかインナーマッスルで鍛えたい。体力を取り戻したい。(30代女性)

#### パソコン。スマホ。IT機器。

● **使**いこなせるようになりたいの。(50代女性)

● **アニメ**やプログラミングしたい。マルチメディア技術を知りたい。(高校生女子)

#### 木曜会

● **南新町児童館**(相模大野9の1の4)  
● **木曜日** 午前10時から午後1時  
● **山田**

#### 不安なので。

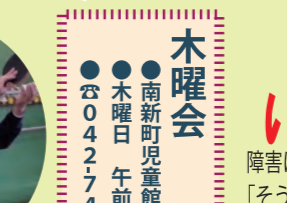
● **身体**がすごく重くなっているから。(70代女性)

● **プール**で足腰の訓練したい。自宅の階段がつかなくなってきたから。(70代男性)

● **ちゃん**と習って上手に泳ぎたい。(70代女性)

● **4面**のびあ・さぼノートもあわせてお読みください。

● **パソコン**教室のようす。中央奥がサポートしている古川繁子さん。



#### いっしょに卓球ラリーしよ

● **新町児童館**を活動場所としている卓球サークルです。80代の方が2人。いちばん若くて60代半ばですが、みんななかなかのプレーヤーで、卓球を初心者の方から教えます。現在、メンバーは19名。南新町自治会から補助金をいただいています。旭町や豊町、上鶴間からも来てくださる方がいます。高齢なので、無理をしない、ということがいちばんです。楽しむためには、ラリーがつづくように打つことが大事で、相手が打ちやすいところに返すようにします。みんな目が悪くボールをなんとなく見ているだけですが、ボールの落ちていくタイミングをねらっていけば、大丈夫です。ボールを見るのではなくて感じるようにするわけです。卓球は相手があるので、話をしながら、コミュニケーションしながらできるのがいいです。児童館に来る子どもたちにもラケットの持ち方から教えてあげようと思っています。本当の世代間交流ですね。南新町児童館では、そのほか、サークル活動として書道を教えてくれるサークルもあります。児童館はまちの文化教室みたいですね。

● **障害**に寄り添う、これを合言葉に活動を行っています。「そうそう」はこじんまりした団体です。決して上から目線で「おしえる」のではなく、一緒に楽しみながら学ぶ姿勢です。でも無責任ではいけません。プロではないので、分からないことは宿題にしろもらい、自宅調べてから次回に臨みます。自分の勉強にもなりますね。ボランティアでパソコンのお手伝いをするサポーターには、2重の達成感が次への動機づけになります。色んな障害の方と接してきました。パソコンは続けたいが体調が良くなりPC購入を決断できず断念した視覚障害者。アスペルガー症候群の女児では親御さんの要望があまりに高く対応できなかった苦い経験。某団体内部のトラブルで退会したが継続したいと相談を受け別団体を立ち上げて継続したり、縁が切れていると思っていた懐かしい方から訪問サポートの依頼が来たり・・・。パソコンだけでなく、時には世間話をしたりしてゆるくつながるのがいいですね。

● **今回は**、「ここみせ」じゃなくて「このともだち」すなわち「こども」。出会いをここに。

#### ぱそぼらそうそう相模原

● **南保健康福祉センター**(相模大野6の22の1)  
● **木曜日** 午後1時から午後3時  
● **古川**

● **身体**を動かすものもいいよね。(20代女性)

● **社交**ダンス。身体を動かしたいから。だけど、ハードかな？ (70代女性)

● **身体**を動かすものもいいよね。(20代女性)

● **身体**を動かすものもいいよね。(20代女性)

● **身体**を動かすものもいいよね。(20代女性)

● **身体**を動かすものもいいよね。(20代女性)

● **身体**を動かすものもいいよね。(20代女性)

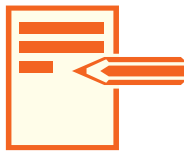
● **身体**を動かすものもいいよね。(20代女性)

● **身体**を動かすものもいいよね。(20代女性)

● **身体**を動かすものもいいよね。(20代女性)



なんでも情報交換  
ぴあ・さぽノート



ご自分も障害をおもちの古川繁子さんに障害者にとってのパソコンとそのサポートについておききました。

南保健福祉センター1Fロビーにて古川さん。



パソコンって、なあに？

Note①

パソコンはパソコンボランティアの略称です。1990年代、パソコンが市民へ広がり始めた時期に、障害者が使って可能性を見出してほしいと自然発生的にボランティア活動が生まれ、全国的に拡大しました。発症した病気のため障害者になり、1996年に仕事を辞めざるを得なくなった私は、何かで社会とつながりたいと考えていた時です。朝日新聞県版に掲載された記事で、海老名の当事者団体がパソコンを立ち上げたいことを知り、参加するようになりました。相模原市には、まだない時でしたが、やがて相模原にも団体が立ち上がってきました。以来、いくつかの団体を経て〈パソコンろうそく相模原〉で活動しています。

Note②

正直、障害をもつまでボランティアには関心がありませんでした。それが、障害をもってパソコンの便利さがわかって、ほかの障害者にも使ってもらいたいと思うようになりました。パソコンに詳しいからボランティアしたいと思ったのではないのです。障害者の立場からパソコンの便利さを分かち合いたいと思いました。

とはいえ、自分の障害しかわからないのだということ、ボランティアするなかで教えられました。コミュニケーションと関係性のなかで、相手の障害を知りその痛みも理解できるようになるのです。また、障害者となったからこそ社会参加が必要だと思っていることもあります。障害者のみなさんもボランティアできるんですよ。

「できなくなったことを悔やむより、できることを前向きに探していく」と、古川さん。いまの自分を受け入れることの大切さを教えられたとともに、後ろ向きになっていた自分を反省しました…。 (い)

Note③

無理強いしないサポートを

寄り添って、この意味するところは、障害者の気持ちを最優先に、無理強いしないサポートを心がけること。人間はどうしても自分本位に考えるものです。あ、その発言、まずいんじゃないの？と思うときもありますが、サポート経験を積んで学んでいってほしいです。いつしか加齢とともに、あるいは不慮の事故・病気で不自由になって、助けが必要になることもあるでしょう。今は元気でスーパーマンは不滅ではありません。そんな近未来に思いをさせて、寄り添っていただけたらいいなあ。

障害者だからボランティア



クリップ・ボード



相模大野のまちで亀山のごサンの「100人の母たち」の写真展をしませんか？ ただ今、実行委員募集中です。関心のある方、手を貸して下さる方、4月21日午後(たいにい・ぼつくす)にどうぞ。



ここずっと市民相談日

4月20日／5月18日／6月8日  
いずれも土曜日の11:00~17:00  
当日は、電話相談も受け付けます。  
TEL 042-745-0676

コミュニティ・カフェ

『ここdeコミ』  
2013年4月21日(日)  
13:30~15:30  
※原則、毎月第3日曜日  
どなたでも出入り自由

【場所】たいにい・ぼつくす 相模大野9-6-18-2F



マンション自治会  
立ち上げ秘話

大野南地区には多くのマンションがあり、そのほとんどに自治会があると思いますが、今回は、ある集合住宅の自治会がどのように立ち上がったかをレポートします。

新築のそのマンションには、入居時、自治会はありませんでしたが、相模原市からは、マンション管理会社を通して自治会を作ってほしい旨の要請が来ていたようです。そこで、自治会を必要と考える居住者の有志が一戸一戸をまわり、入居者の7%程度の世帯参加でスタートを切りました。自治会の大きな役割には、住民どうしの親睦と地域との連携があります。出来立てはほやほやの自治会は、まずは親睦を重視しました。イベントを多く催し、会員の獲得をめざしたのです。しかし、自治会の加入率は数年たったいま、倍増したといっても15%程度を保った横ばい状態が続いています。現在の体制は、正副会長のほか事務局、文化企画、青少年、体育、広報など公民館の部会担当や防災部などで組織されています。

■ なぜ会員は増えないか

まず、輪番でまわってくる役員になるのがいやで入らない、あるいは、その番がまわってきたのでやめてしまうという人がいます。管理組合や管理会社のサービスで普段の生活に困らないから入らないという人もいます。極端な例では、他所の話ですが、マンション全体で自治会に加入しないと決議したところもあるようです。

その他、赤い羽根など募金・寄附金にたいする扱いについて、古くて新しい問題ではありますが、そういったことを気にする人もいます。

■ 自治会はなくても何の問題もないのか

セキュリティの高いマンションといえども、入館した人の後について行けば、簡単にマンション内に入ることはできません。隣家の人の顔もわからないのですから入居者かどうか確認を取ることができません。また、これまでの大震災でもわかるように、大規模災害が起これば、行政による公助が来るまで(72時間が目安)は、自助・共助が基本となります。そんなとき、自治会があるかないかでは大きな違いが出てくるのではないのでしょうか。管理組合があるのではないかという意見もあるでしょう。しかし、管理組合は共同財産の管理が目的の法律で義務付けられた組織で、防災や防犯をする組織ではありません。

■ いざというときのコミュニケーションカ

ほとんどの自治会に防災や防犯の部会があります。そこでは、防災訓練や防犯の呼びかけ、夜回りなどを見つけた会員の手で自主的に行なっています。その方法はさまざまではありますが、大切なことは、自治会という任意の組織に集った人々がお互いの顔を知り、話し合いや事業を通してコミュニケーションの輪を広げることによって、いざというときも、スムーズにお互いを助け合える環境が整えられるということではないでしょうか。

一戸一戸のプライバシーやセキュリティが保たれているマンションだからこそ、多くの入居者が自治会に加入してコミュニケーションの輪を広げられたらどんなに素晴らしいことでしょう。

15%の自治会加入者が85%の未加入者の防災・防犯をカバーすることはできません。みなさんも一度自治会の役割について考えてみませんか。



Information

ここずたうんは、このまちでずっと暮らしたいと思う人、思ってもらいたい人のための情報紙となることを目指しています。

ご意見、投稿、記者志望者はここずたうん編集室へ

【TEL】042-745-0676 【FAX】042-742-0447

【E-mail】info@cocozutto.jp

『季刊・ここずたうん』 年4回発行・無料

【発行日】2013年4月1日

【発行者】



NPO法人 ここずっと  
〒252-0303 相模大野9-6-18-2F  
ここずたうん編集室